

平成 **25** 年度

事業者番号 **0063** 事業所番号 **006300**

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	株式会社 エフテック 久喜第2工場					前年度における事業所数	2	
代表事業所所在地	市区町村	埼玉県久喜市						
	字・地番	河原井町43番地						
原油換算エネルギー使用量 (kL)	年度	22年度(2010)	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)		
	使用量	327	179	236				
産業分類名(中分類)	輸送用機械器具製造業							
分類番号(中分類)	31							
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容 ・自動車部品及びそれに伴う金型、機械器具等の開発製造・販売 従業員数 ・64名						
	延床面積						m ²	
商標又は商号								

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

計画期間	22 年度 ~ 26 年度	
目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	・平成18年度排出量(約642t-CO ₂)を基準とし、平成22年度~26年度の5か年の期間中に、年度平均3%(約95t)削減することを目標としていたが、すでに達成したため、平成26年度末に排出量を564t以下とすることを新たに目標とする。 平成23年に物流倉庫である「鴻巣倉庫」の業務を全て運送業者に委託しましたが、基準年において物流センターは排出事業所に含んでいなかったため、基準年の変更を行っていない。
	その他ガス	対象ガスなし

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	株式会社 エフテック 久喜第2工場	埼玉県久喜市河原井町43番地
2	設備センター	埼玉県加須市花崎5丁目3番
3		
4	(廃止した事業所)	
5	鴻巣倉庫(平成23.4より廃止)	埼玉県鴻巣市境小ヶ山1375-1
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

			計 画 期 間					
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂	目標			635	622	622	584	564
	実績		522	517	272	362		
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂	目標						
		実績		0	0	0	0	
	メタン	目標						
		実績		0	0	0	0	
	一酸化二窒素	目標						
		実績		0	0	0	0	
	ハイドロフルオロカーボン	目標						
		実績		0	0	0	0	
	パーフルオロカーボン	目標						
		実績		0	0	0	0	
	六ふっ化いおう	目標						
		実績		0	0	0	0	
温室効果ガスの合計		目標		635	622	622	584	564
		実績	522	517	272	362		

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

			計 画 期 間					
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位		目標		0.0787	0.0763		0.1298	0.1200
		実績	0.0912	0.0749	0.0469	0.0869		
活動規模の指標	○	生産量 (単位)	t/年					
	○	出荷額 (単位)	百万円/年					
	○	従業員数 (単位)	人					
	○	床面積 (単位)	m ²					
	●	付加価値額 (単位)	百万円	5,722	6,900	5,798	4167	

4 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量

別紙1-1、1-2号

5 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

別紙2号

6 温室効果ガスの過年度における推移

別紙3号

7 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

別紙4号

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

株式会社 エフテック 久喜第2工場

No	対策の区分		対策内容	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	第2工場コンプレッサー更新	平成22年度	実施済み 平成25年度維持継続
2	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	溶接電源 不稼働時の電源OFFによるCO2削減	平成22年度	実施済み 平成25年度維持継続
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不稼働時におけるクーリングファンの停止	平成23年度	実施済み 平成25年度維持継続
4	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	第2工場内 水銀灯照明の廃止と照明更新	平成25年度	実施予定 平成25年度展開計画
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

(1)温室効果ガス排出量の推移

株式会社 エフテック 久喜第2工場

CO₂換算(t-CO₂)

		14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基準年度														
燃料等使用量の原油換算量(kL)		381	389	321	367	421	339	284	269	327	179	236		
エネルギー起源CO ₂		572	584	481	564	642	517	432	522	517	272	362		
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂										0	0		
	メタン										0	0		
	一酸化二窒素										0	0		
	ハイドロフルオロカーボン										0	0		
	パーフルオロカーボン										0	0		
	六ふっ化いおう										0	0		
合計		572	584	481	564	642	517	432	522	517	272	362		

(2)温室効果ガス排出量原単位(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

			14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基準年度															
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位			0.0846	0.0751	0.0658	0.0762	0.0795	0.0544	0.0529	0.0912	0.0749	0.0469	0.0869		
活動規模の指標	○	生産量 (単位)	t/年							0	0	0	0	0	0
	○	出荷額 (単位)	t/年							0	0	0	0	0	0
	○	従業員数 (単位)	人							0	0	0	0	0	0
	○	床面積 (単位)	m ²							0	0	0	0	0	0
	●	付加価値額(単位)	百万円	6761	7779	7307	7405	8080	9509	8167	5722	6900	5798	4167	0

(希望者のみ記載)

A事業所
株式会社 エフテック 久喜第2工場

自由記述欄

1. 平成22年度の主たるCO2削減対策について

・第2工場コンプレッサ更新

【問題点】第2工場では55Kwコンプレッサ-2台で運転しておりアンロード制御の仕様のため無負荷状態においても多量の電力を消費している。

【対策】55Kw2台を廃止・75Kwインバータコンプレッサ-1台に更新、負荷比例運転による電力の削減を行う。

【対象規模】55Kwコンプレッサ-2台 年間CO2排出量149.7t-CO₂, 年間電力量39,600Kwh

【効果予測】75Kwインバータコンプレッサ-1台 年間CO2削減効果 141.6t削減

・溶接電源 不稼働時の電源OFFによるCO2削減

【問題点】休日では溶接設備の主電源をOFFにする対策を実施しているが、日常では溶接電源は溶接作業が無い時間帯でもつけっぱなしである。

【対策】日常作業終了後の不稼働時間帯の電源を切り、CO2排出量を削減する。

【対象規模】対象:溶接機25台 計5kwh溶接不稼働時電気量/1台 0.2kwh

【効果予測】CO2排出量削減効果/日 18.55kg 年間CO2削減効果 4526kg

2. 平成23年度の主たるCO2削減対策について

・不稼働時におけるクーリングファンの停止(平成24年度継続実施)

【問題点】休日の主電源をOFFにする対策を実施。しかし、日常での不稼働時の電力消費を昨年度実施した溶接機同様に見直すことができないか。

【対策】溶接設備同様で、不稼働時間帯の電源を切り、CO2排出量を削減する。

【目標】4998kgのCO2排出量削減を目標とする。

3. 平成25年度の主たるCO2削減対策について

・第2工場内の照明機器の変更を実施し、水銀灯を廃止する。

【目標】12,520kwhの電力エネルギー量の削減、年間CO2削減効果 4,733kg